

令和6年度鹿児島県PTA連合会事業計画（施策体系・実施計画）

基本方針

鹿児島県PTA連合会は、小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校の保護者と教職員が一致協力して教育活動を進める民主的な団体として、児童生徒の健全な育成を目指し、生涯学習の観点に立った諸活動を展開する。

重点運動項目 (注1)

力点

「子どもを守り育てる最終責任は親にある」という認識のもと、心豊かでたくましい子どもを育てるため、次の事項を重点的に取り組む。

- 1 家庭は、人生の基盤をつくる最も大切な学習の場であることから、生活環境に応じた基本的生活習慣や学習習慣の改善・確立を図る中で、人を思いやる心や命を大切にすることを育む家庭教育の充実に努める。
- 2 「県PTA研究大会・県PTA活動研究委嘱公開」及び「県PTA活動研究委嘱公開」、「高校ブロック研修会等」を通して、会員の自己研鑽機会の充実に努める。
- 3 関係機関・団体と連携・協力しながら、学校教育への理解を深め、学校を支援するための組織運営に努める。
- 4 子どもの心身の健康づくりと安全・安心を確保するため、会員相互のコミュニケーションを深め、家庭・学校・地域社会との一層の連携・協働による、よりよい地域づくりを推進する組織づくりに努める。

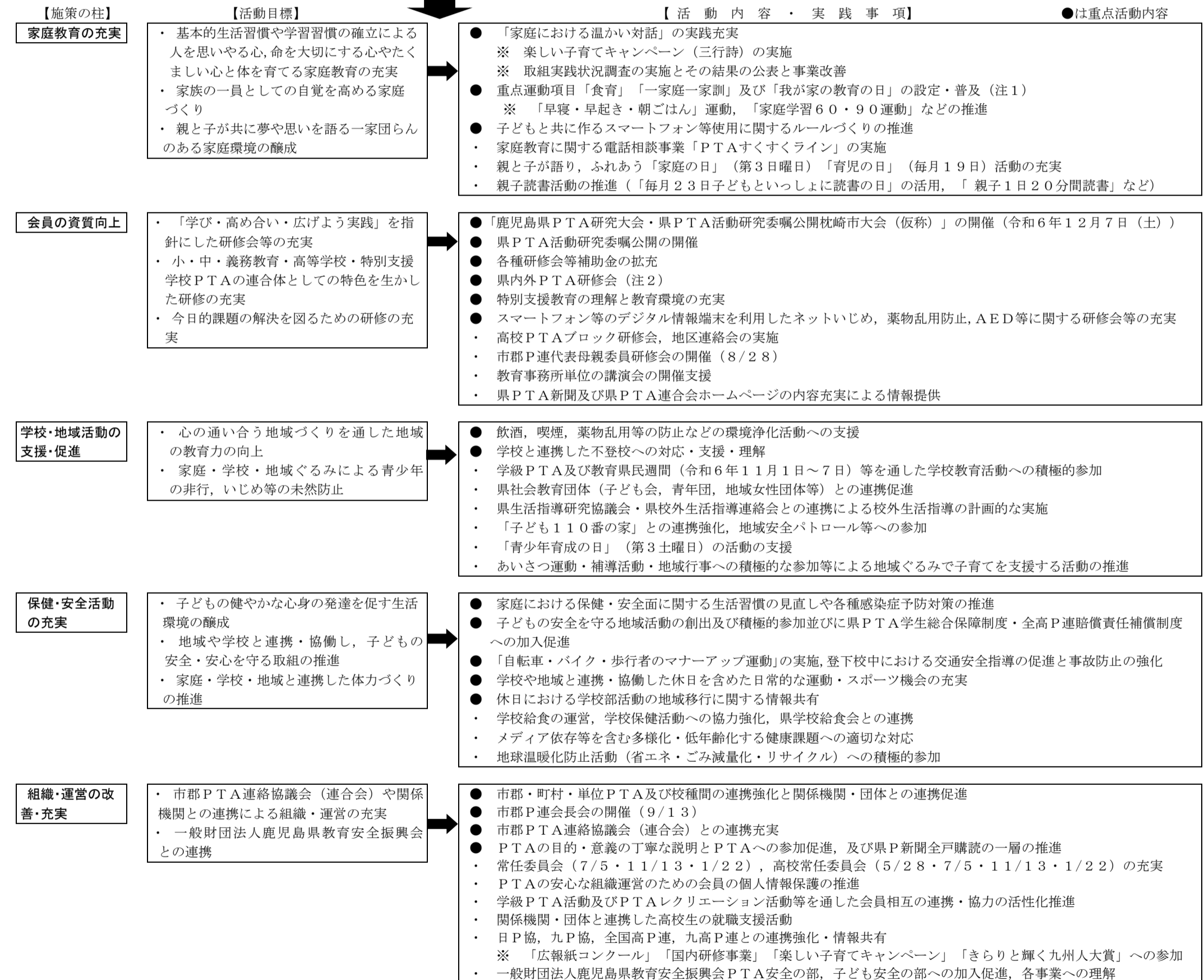
- ・「食育」
- ・「一家庭一家訓」
- ・「我が家の教育の日」

県P五つの実践

- ・ 家庭で温かい会話を増やそう！
- ・ 学校教育の理解に努めよう！
- ・ 地域で子どもたちを見守ろう！
- ・ 会員相互のコミュニケーションを深めよう！
- ・ 生涯学習の実践に努めよう！

施策

基本方針・力点に基づき、関係団体との連携のもと、家庭教育の充実、会員の資質向上、学校・地域活動の支援・促進、保健・安全活動の充実、組織・運営の改善・充実の5項目を柱に諸施策を総合的に進める。



(注1)

- ・ 「食育」 食事のマナーや食習慣について、家族で話し合うなどの実践や、子どもとの「体験活動」を通して食材や生産する人、調理する人への感謝の気持ちを育むなどの実践が考えられる。
- ・ 「一家庭一家訓」 家庭における子どもの生活習慣・学習習慣や地域での過ごし方等について、約束事を家族で話し合っ決めて、それが確実に守られるように、短冊やカレンダーにして掲示するなどの実践が考えられる。また、「早寝・早起き・朝ごはん」運動、「家庭学習60・90運動」などに関する実践も考えられる。
- ・ 「我が家の教育の日」 親と子の絆を深めるために、家族で「食育」や「一家庭一家訓」について話し合ったり、生活体験や社会体験、自然体験を親子ですたりする日の設定や「ノーテレビデー」「ノーゲームデー」「親子読書週間」の設定などの実践が考えられる。

(注2)

- | | |
|---|------------------------------|
| ・ 第69回日本PTA九州ブロック研究大会長崎大会（令和6年10月26日（土）・27日（日）） | ・ 県連合校長協会との連絡会（令和6年7月13日（土）） |
| ・ 第72回日本PTA全国研究大会川崎大会（令和6年8月23日（金）・24日（土）） | ・ 県退職校長会との連絡会（令和6年9月3日（火）） |
| ・ 第67回九州地区高等学校PTA連合会大会熊本大会（令和6年6月21日（金）） | ・ 県教育委員会との連絡会（令和6年11月13日（水）） |
| ・ 第72回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会（令和6年8月22日（木）・23日（金）） | |